

# 宮城県感染症発生動向調査情報

平成28年5月12日発行

— 2016.5.2 ~ 2016.5.8 — 第18週 —

## 1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							患者数	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第15週	第16週	第17週	第18週
水痘	3 0.60	4 0.40			2 0.67		1 0.50	15 0.56	25 0.42	492			○	○
流行性耳下腺炎	4 0.80	2 0.20			2 0.67		1 0.50	5 0.19	14 0.24	392			○	レ
百日咳									0 0.00	7				
感染性胃腸炎	35 7.00	38 3.80	33 6.60	24 12.00	25 8.33	10 2.00		139 5.15	304 5.15	6,971	◎	◎	◎	◎
手足口病									0 0.00	11				
伝染性紅斑		3 0.30						4 0.15	7 0.12	190				
突発性発しん	2 0.40	5 0.50	5 1.00	2 1.00	2 0.67	3 0.60	1 0.50	13 0.48	33 0.56	492	レ	○	○	○
ヘルパンギーナ					1 0.33				1 0.02	4				
インフルエンザ	23 2.88	22 1.47	22 2.75	1 0.33	20 4.00	49 6.13	29 7.25	68 1.55	234 2.46	27,725	◎	◎	◎	◎
咽頭結膜熱		6 0.60		3 1.50				4 0.15	13 0.22	229				
流行性角結膜炎		2 0.67							2 0.17	49				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16 3.20	19 1.90	21 4.20	1 0.50	1 0.33	28 5.60		41 1.52	127 2.15	4,437	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	4				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎				3 3.00			2 2.00	1 0.20	6 0.50	132				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0	0				
RSウイルス感染症									0 0.00	251				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	10				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	6		1				2						
	川崎病													
	不明発疹症							1						

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意  
○: 発生または流行について、今後の情報に留意  
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

## 2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

気仙沼管内 女性1名(第17週)  
塩釜管内 男性1名  
栗原管内 女性1名  
仙台管内 男性1名、女性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)

仙台管内 男性1名  
腸管出血性大腸菌感染症(O91)  
仙台管内 男性1名

4類感染症: 報告なし

5類感染症: 侵襲性肺炎球菌感染症

大崎管内 男性1名(第17週)  
塩釜管内 男性1名  
石巻管内 女性1名

## 【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

インフルエンザ患者より

塩釜管内 第16週採取分 インフルエンザウイルスB型 1件  
第17週採取分 インフルエンザウイルスB型 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定			中 間 報 告		
	第15週採取分 (4.11～4.17)	第16週採取分 (4.18～4.24)	第17週採取分 (4.25～5.1)	第15週採取分 (4.11～4.17)	第16週採取分 (4.18～4.24)	第17週採取分 (4.25～5.1)
インフルエンザウイルスB型(山形系統)	0件	2件	3件			
インフルエンザウイルスB型(ヒカリア系統)	2件	0件	0件			
ヒトメタニューモウイルス	2件	0件	0件			
Aデングウイルス	0件	0件	2件			
ライノウイルス	0件	0件	2件			
サイトメガロウイルス	1件	0件	0件			

## 3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[感染性胃腸炎]

栗原管内で警報継続中

[A群溶血性レンサ球菌感染症]

石巻管内で警報継続中

## 4. 今週のコメント

【後天性免疫不全症候群】

後天性免疫不全症候群はHIVの感染により免疫不全が生じ、日和見感染症や悪性腫瘍が合併した状態となります。現在は、治療により発症を抑えることが可能なため、早期の発見と治療開始が重要となります。保健所での無料・匿名のHIV抗体検査や相談等を活用し、予防や感染拡大防止に努めてください。

【HIV感染者・AIDS患者累積報告数】

	HIV感染者	AIDS患者
宮城県	123(3)	88(4)
全 国	17,848(266)	8,056(102)

( )内は平成27年10月1日から平成27年12月末日までの報告数  
API-Net(エイズ情報予防ネットより)

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228

FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

